

広島市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の令和5年度における目標達成状況等について

1 計画の概要

(1) 計画の位置付け

本計画は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」第6条第1項の規定に基づき策定する法定計画であり、国の法律・計画や県の「広島県廃棄物処理計画」、本市の「広島市総合計画」、「広島市環境基本計画」等との整合を図り、長期的・総合的な視点から、本市における一般廃棄物処理の方針を示す計画である。

また、食品ロスの削減の推進に関する法律及び広島市食品ロス削減推進条例に基づき策定する食品ロス削減推進計画は、「ごみの発生抑制・排出抑制」に資するものであり、本計画と関連が深いことから、本計画の中に位置付け、一体のものとして策定している。

(2) 基本理念・基本方針

【基本理念】：『ゼロエミッションシティ広島の実現』
 本計画に掲げる施策を市民・事業者・行政が一体となって更に推進し、資源が循環して天然資源の消費が抑制され、環境への負荷が低減される美しく魅力あふれる都市、ゼロエミッションシティ広島の実現に向けた挑戦を続けていく。

- 【基本方針1】：市民・事業者・行政が一体となったごみの減量とリサイクルの推進
- 【基本方針2】：安定的なごみ処理体制の確保
- 【基本方針3】：分別区分・収集運搬体制の再構築
- 【基本方針4】：コストの削減
- 【基本方針5】：ごみのないきれいなまちづくりの推進

(3) 計画期間

平成27年度から令和6年度までの10年間

（前期：平成27年度～令和元年度、後期：令和2年度～令和6年度）

(4) 目標

区 分	基準年度	目 標	中間目標年度	最終目標年度
	平成25年度		令和元年度	令和6年度
排出量	37.2万t (859g/人日)	最終目標年度（令和6年度）までに ごみ総排出量を <u>337,000t/年（約1割削減）</u> 以下にする 1人1日当たりのごみ排出量を <u>785g/人日（74g削減）</u> 以下にする	目標値	33.7万t (785g/人日)
			35.9万t (826g/人日)	
焼却量	30.4万t	最終目標年度までに 焼却量を <u>285,000t/年</u> 以下にする	目標値	28.5万t
			29.8万t	
埋立量	5.6万t	最終目標年度までに 埋立量を <u>40,000t/年（約3割削減）</u> 以下にする	目標値	4.0万t
			4.9万t	
			実績値	
			37.3万t (853g/人日)	
			30.4万t	
			6.1万t	

(5) 進行管理

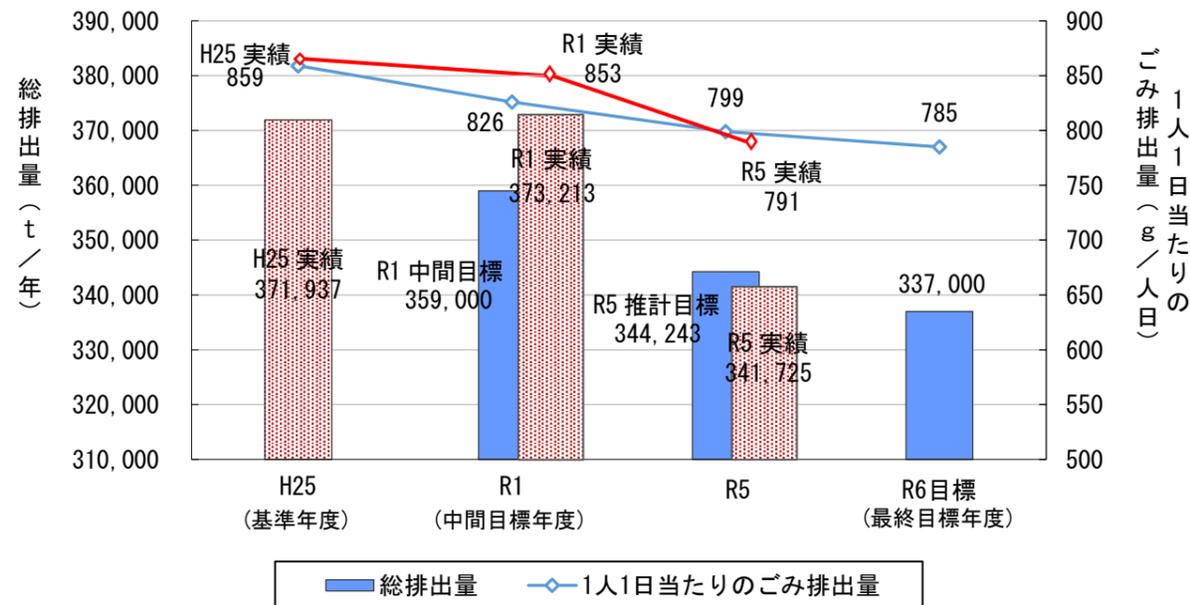
計画を着実に推進するため、施策の実施状況及び目標の達成状況を毎年度把握し、PDCAサイクルに基づき、計画の適切な進行管理を行うとともに、施策の実施状況や効果等を評価し、ごみ排出量等の推移や社会情勢の変化などを踏まえた上で、新たな施策の導入についても検討する。

2 目標の達成状況

項目	平成25年度実績 (基準年度)	令和5年度推計目標値 (A)	令和5年度実績 (B)	令和6年度目標値 (最終年度)	目標達成率 {1-(B-A)/A}×100
1年当たりのごみ総排出量 (t)	371,937	344,243	341,725	337,000	100.7%
家庭ごみ (t)	214,681	204,911	204,592	-	100.2%
事業ごみ (t)	155,424	137,901	135,817	-	101.5%
都市美化ごみ (t)	1,832	1,431	1,316	-	108.0%
1人1日当たりのごみ排出量 (g/人日)	859	799	791	785	101.0%
1年当たりのごみ焼却量 (t)	303,687	288,721	278,772	285,000	103.4%
1年当たりのごみ埋立量 (t)	55,859	41,271	40,984	40,000	100.7%

※ 計画の目標値は、令和元年度（中間目標年度）及び令和6年度（最終目標年度）で設定しており、年度ごとに設定していないが、便宜的に各年度に割り振って推計値を算出している。

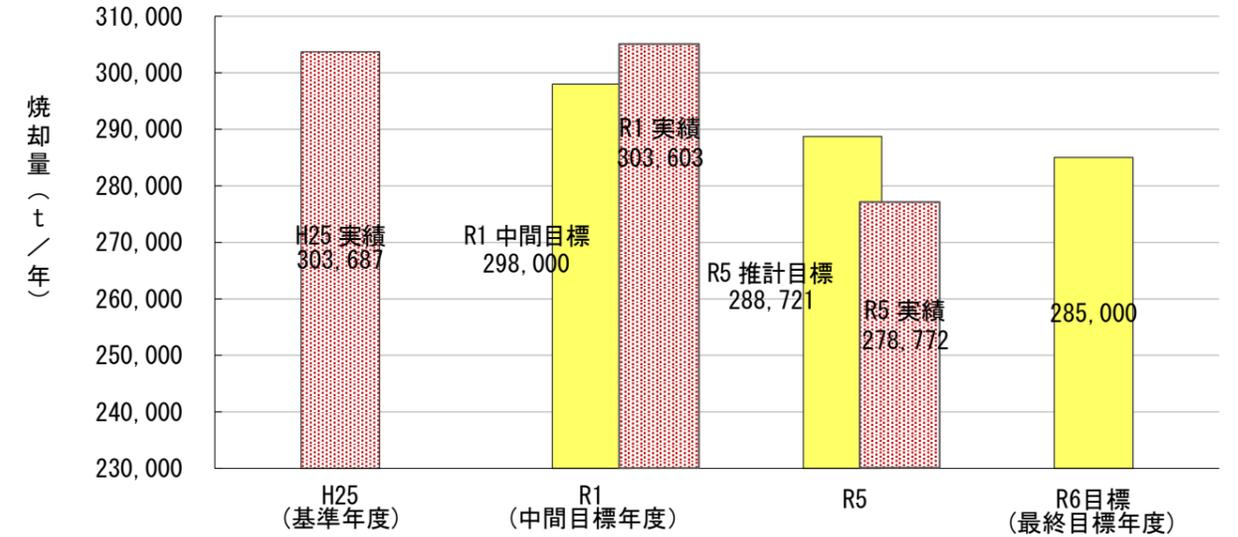
(1) 排出量



【達成状況】

- 令和5年度のごみ総排出量は341,725tと、令和5年度の推計目標値344,243tより2,518t少なく（目標達成率：100.7%）、基準年度である平成25年度の371,937tと比べると30,212t減少している。
- 令和5年度の1人1日当たりのごみ排出量は791gと、令和5年度の推計目標値799gより8g少なく（目標達成率：101.0%）、基準年度である平成25年度の859gと比べると68g減少している。

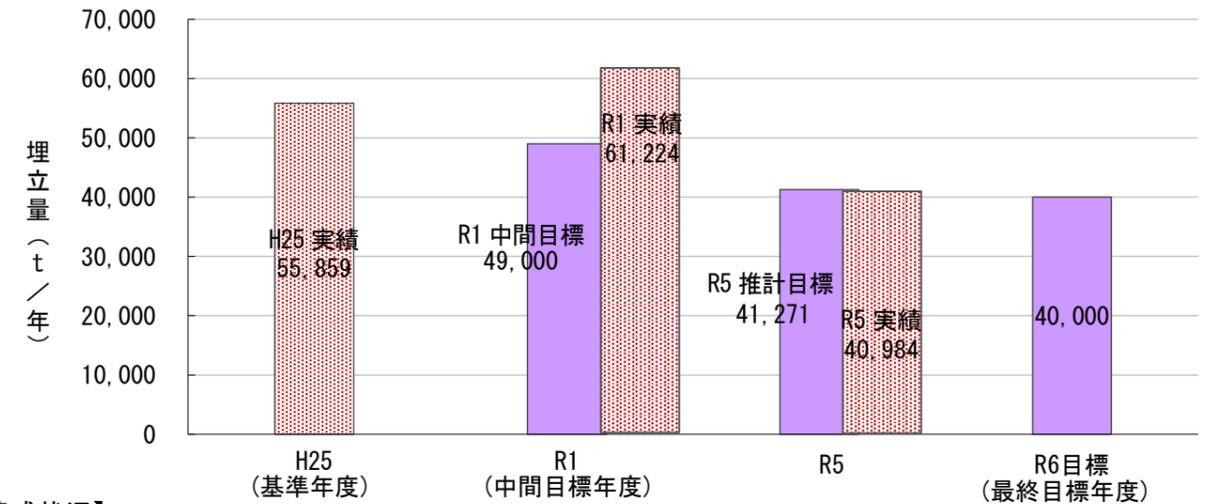
(2) 焼却量



【達成状況】

- 令和5年度の焼却量は278,772tと、令和5年度の推計目標値288,721tより9,949t少なく（目標達成率：103.4%）、基準年度である平成25年度の303,687tと比べると24,915t減少している。

(3) 埋立量



【達成状況】

- 令和5年度の埋立量は40,984tと、令和5年度の推計目標値41,271tより287t少なく（目標達成率：103.7%）、基準年度である平成25年度の55,859tと比べると14,875t減少している。

【目標達成状況の評価】

各目標について、それぞれ令和5年度の推計目標値を達成しており、現行計画の初年度である平成27年度から最終目標年度である令和6年度に向けて、ごみの減量とリサイクルの推進に向けた各施策の成果が着実に上がっているものと考えられる。

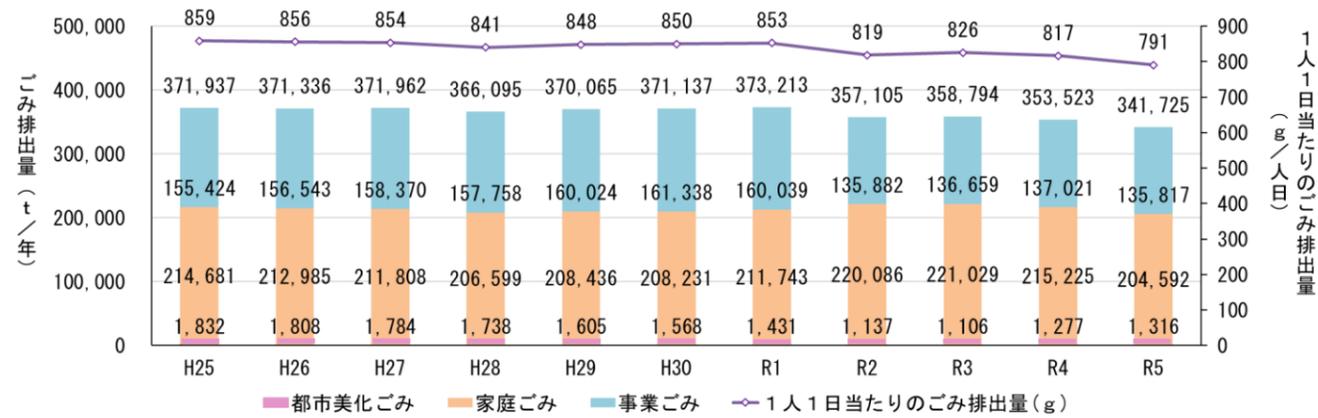
3 ごみ処理の状況

(1) ごみ排出量の推移

ごみ排出量は、本計画の基準年度である平成25年度から令和元年度まではほぼ横ばいで推移していたが、令和2年度において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、家庭ごみは外出自粛による巣ごもり消費により増加した一方、事業ごみが事業活動の縮小により大きく減少したことに加え、玖谷埋立地で受け入れていた産業廃棄物（廃プラスチック類）の受入れを停止し、民間業者での処理に移行したことで全体としてのごみ排出量は減少し、その後も減少傾向となっている。

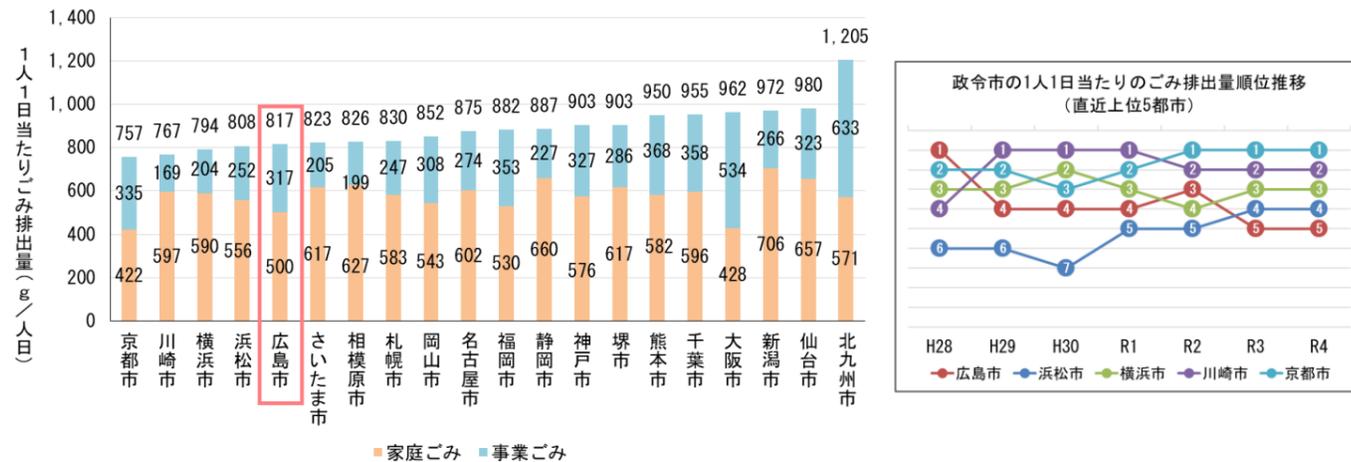
また、町内会や市民ボランティア等による清掃活動により収集された都市美化ごみは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、活動の中止を余儀なくされたこともあり、令和2年度、令和3年度は減少したが、令和4年度以降は、活動が再開され始めたことから増加に転じている。

ごみ排出量の推移



(参考1) 1人1日当たりごみ排出量の政令指定都市比較

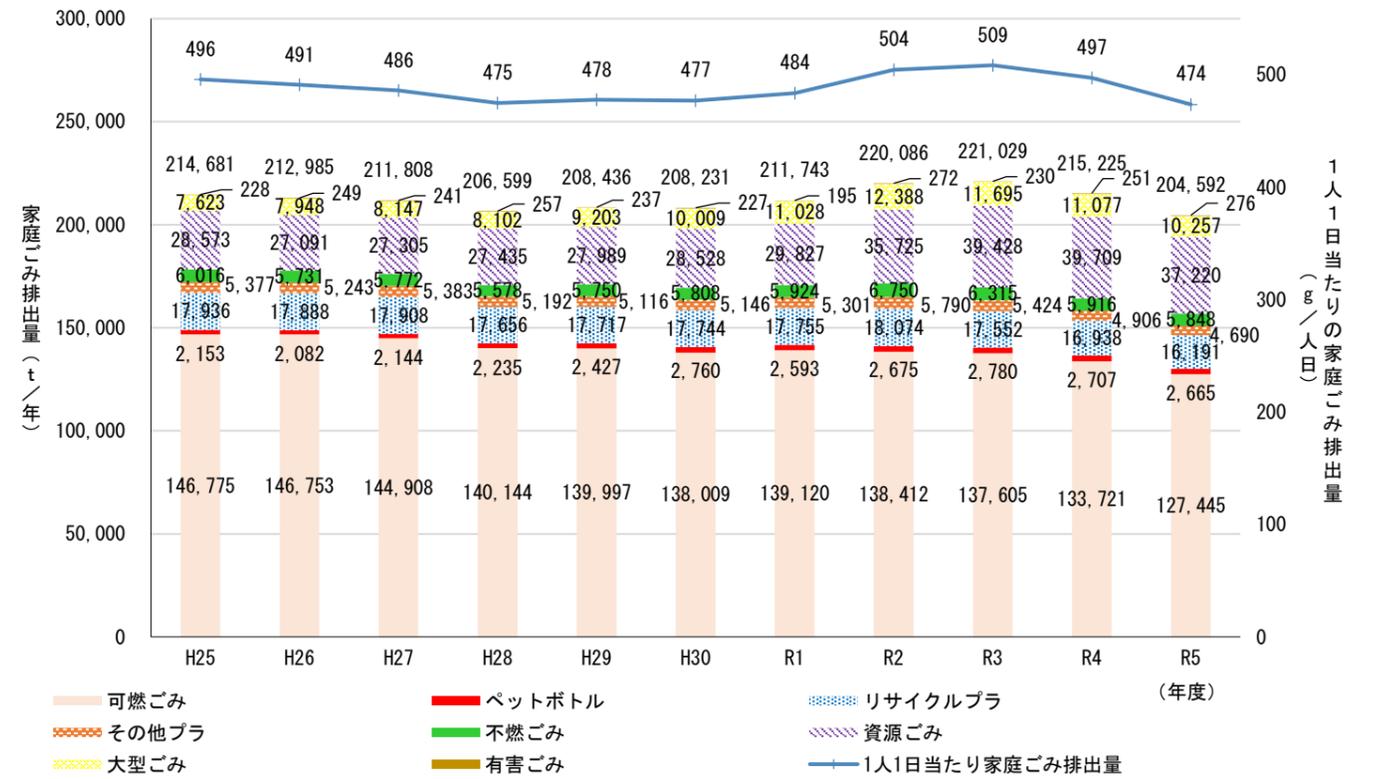
市民1人1日当たりのごみ排出量は、平成25年度以降、緩やかな減少傾向となっており、国の実態調査の結果によると、本市は平成28年度まで12年連続で政令指定都市中最少であったが、平成29年度に少ない方から4番目となり、令和4年度は、ごみ排出量は前年度よりも減少したものの、政令市の中では少ない方から5番目と一つ後退した。



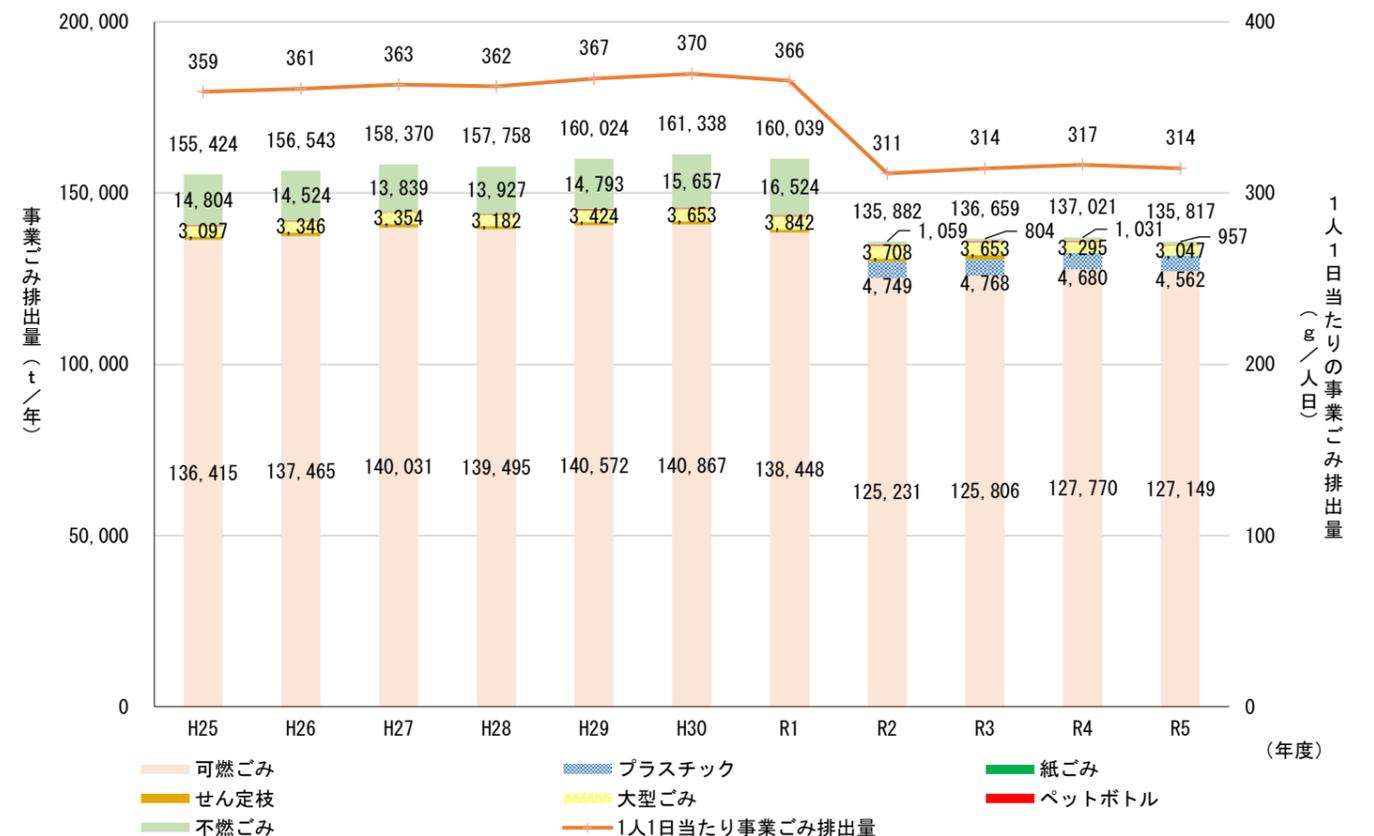
(資料：環境省 令和4年度一般廃棄物処理実態調査結果)

(参考2) ごみ種類別排出量の推移

① 家庭ごみ

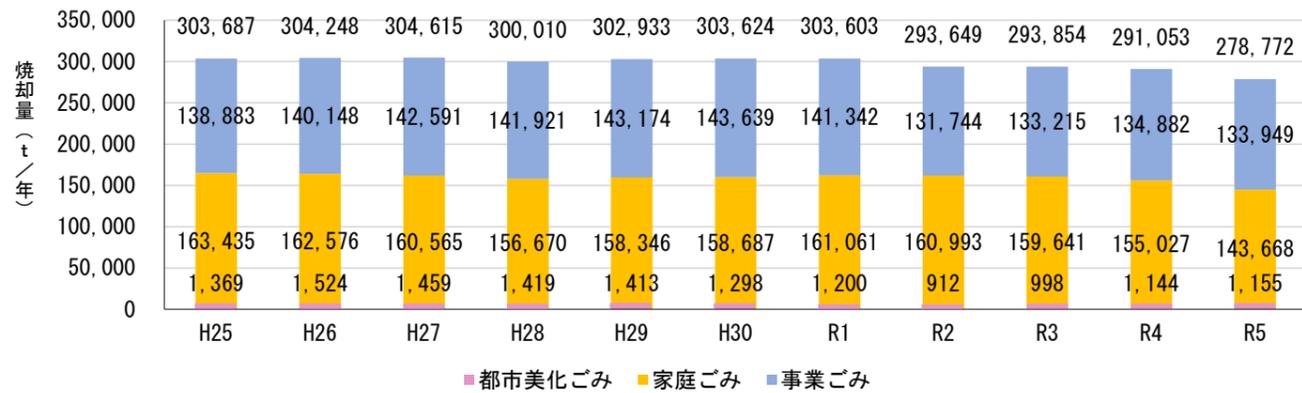


② 事業ごみ



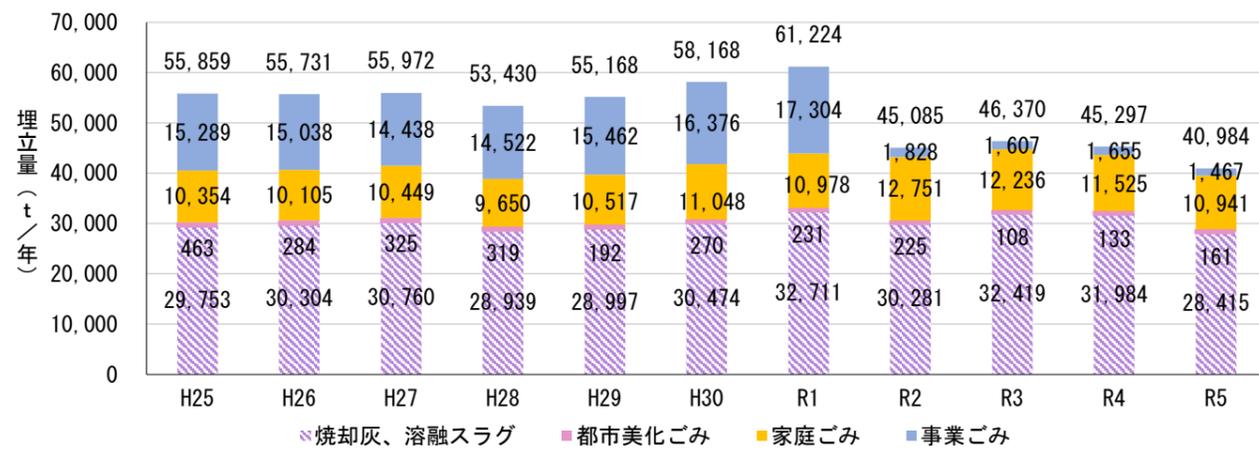
(2) 焼却量の推移

焼却量は、令和元年度まではほぼ横ばいで推移していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた令和2年度に約1万t減少し、令和5年度は更に約1万t減少した。



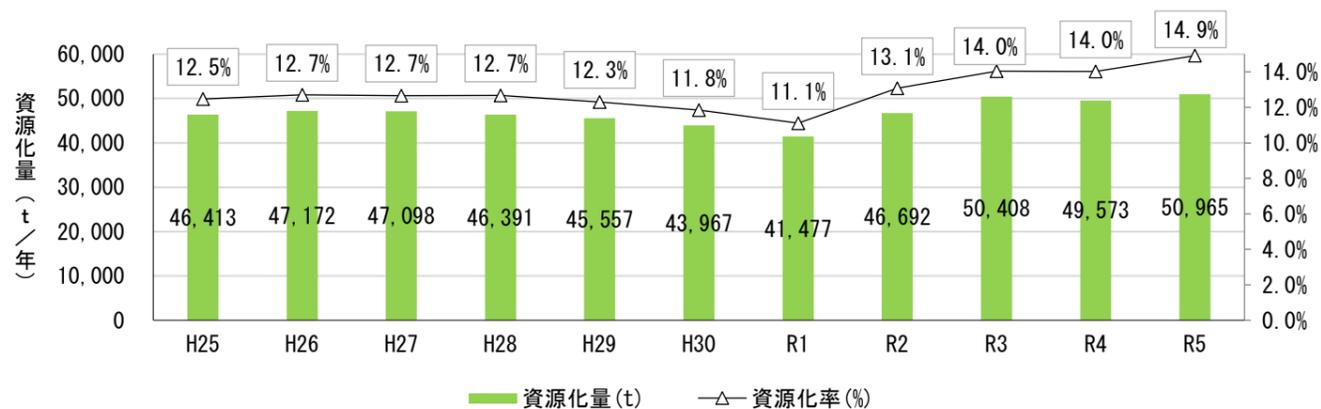
(3) 埋立量の推移

埋立量は、令和2年度に事業系プラスチックごみ及び産業廃棄物(廃プラスチック類)の玖谷埋立地での受入れを停止したため減少し、その後はほぼ横ばいで推移しており、令和5年度は40,984tとなっている。



(参考3) 資源化率の推移

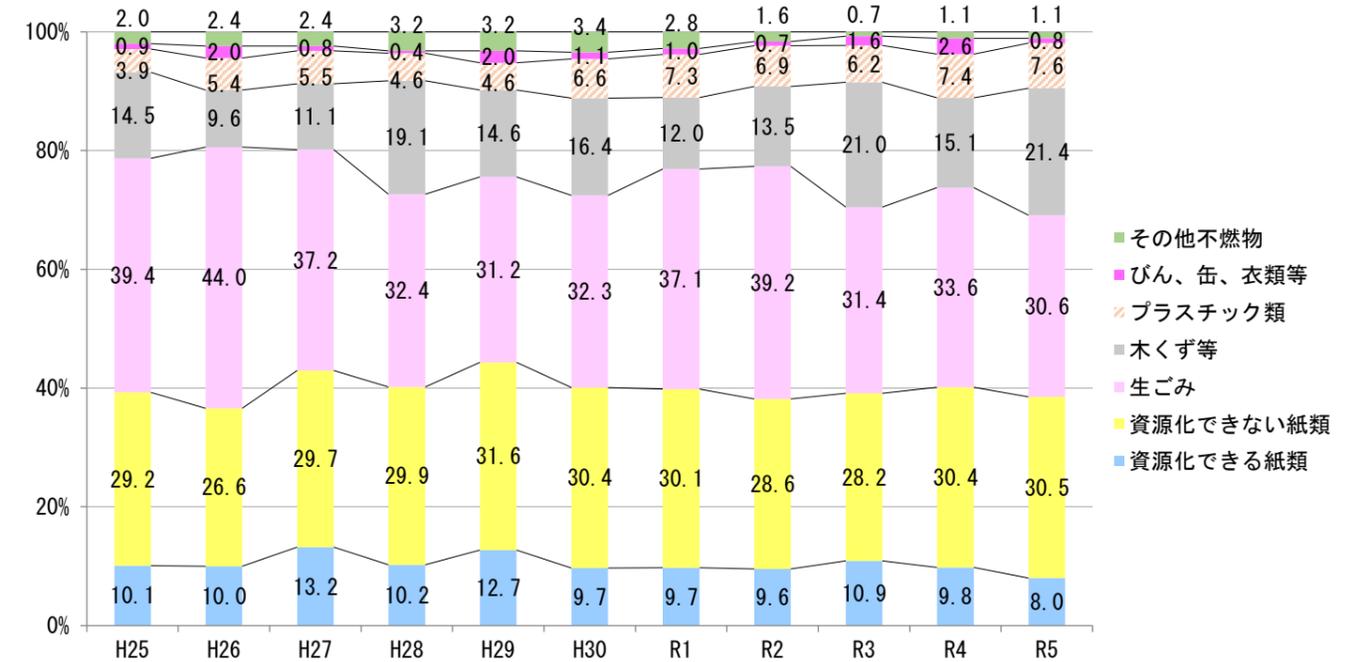
資源化率は、平成26年度から令和元年度まで低下傾向であったが、令和3年度に資源ごみの持ち去り行為を条例で禁止したことなどにより資源化量が増加したこともあり、ここ数年は上昇傾向となっている。



(参考4) 可燃ごみの組成分析調査結果の推移

① 家庭系可燃ごみ

年度によって増減はあるが、紙類が全体の約4割、生ごみが概ね3割~4割で推移しており、紙類のうち資源化できるものは全体の約1割で推移している。



② 事業系可燃ごみ

年度によって増減はあるが、紙類が全体の概ね3割~4割、生ごみが概ね3~4割で推移しており、紙類のうち資源化できるものは全体の概ね1割~2割で推移している。

